



《源平合戦図屏風》左隻(部分) 金城コレクション蔵

続 源

DEN・ON・LIVE!
伝音ライブ!

art space
kaneshiro

平合戦図屏風

アートスペースk. kaneshiro にて展示中の《源平合戦図屏風》(六曲一双のうち左隻)には、那須与一の「扇の的」や源義経の「弓流し」などの場面が細密に描かれています。その様子は、能楽の謡や舞、そして平家琵琶においても詳しく物語られています。

今回は二夜にわたり、絵画と能楽、平家琵琶をそれぞれ比較しながら、表現の違いに迫ります。

11.5 水
18:30~20:00

#07 能楽ライブ

「**八島**」
やし
ま



出演 **金剛 龍謹**
能楽シテ方金剛流

屏風解説 **奥井 素子**
アートスペース k.kaneshiro
キュレーター
京都市立芸術大学非常勤講師

謡い舞う

11.26 水
18:30~20:00

#08 平家琵琶ライブ

「**那須与一**」
な
す
の
よ
い
ち

弾き語る



出演 **菊央 雄司**
地唄箏曲家 / 平家琵琶演奏家

平家琵琶解説 **曾村 みずき**
九州大学大学院芸術工学研究院 助教
東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院音楽研究科音楽専攻(音楽学)博士後期課程修了。薩摩琵琶を中心とした近代琵琶楽の研究に携わる一方で、演奏活動にも取り組む。鶴田流琵琶奏者、岩田桃橋 津軽三味線奏者。令和6年度第60回琵琶楽コンクール秀位入賞。

聴講料
各回 **1,000円**
定員 各回 **40名**

WEBで
申込受付

2025年10月6日(月)10:00~ 受付開始!

下記のイベント案内ページに設置する 専用申込フォームよりお申し込みください。

▼ イベント情報・申込方法等詳細

https://www.kcua.ac.jp/202511denonlive_07-08/



事前申込制 〈先着順〉

※ 定員に達し次第受付を終了します。※ 申込完了後に送信するメールの案内を必ずご確認ください。※ 受講料は当日現金にて徴収いたします。

会場

art space
kaneshiro

アートスペース k.kaneshiro

京都市下京区下之町57-1 (京都市立芸術大学 C棟6階)

企画 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
<https://rijtm.kcua.ac.jp/>

主催 京都市立芸術大学

協力 株式会社ゼロホールディングス

問合せ 京都市立芸術大学事務局 共創テラス・連携推進課

TEL 075-585-2006 (平日 8:30~17:15) E-mail public@kcua.ac.jp

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts

<https://www.kcua.ac.jp>





鎌倉時代

八島

やしま

能楽「八島」は世阿弥作とされる作品のひとつで、八島における平氏と源氏との戦いのクライマックスシーンの物語を中心に据えています。八島を訪れた僧侶の前に現れた老人（義経の幽霊の化身）は、平氏方の景清と源氏方の三保谷による「鍛引き」のシーンを語ります。刀を落として全力で逃げようとする三保谷を、景清が後ろから追いかけます。後半には、義経の幽霊が登場し「弓流し」の場面を語ります。義経は不覚にも海に流されてしまった弓を、ギリギリのところまで自ら回収します。その危険行為を部下に諫められますが、義経はそれが命より名誉を重んじる行為であったと説き、周囲は感涙します。



扇的世

那須与一

なすのよいち

名古屋の盲人演奏家たちが、書かれた譜本によらず、声と琵琶の音だけをたよりに幾世紀にもわたって語り継いできた『平家物語』の演奏。「平家琵琶」「平曲」とも呼ばれ、伝えられた8曲のうちのひとつが「那須与一」です。海の上に浮かぶ平氏の軍勢と、陸に立ち並んで待ち伏せる源義経の軍勢と睨み合う中、平氏の船から扇的をもった女性が現れます。義経は弓の名手である那須与一を指名し、その扇的を狙わせず。覚悟を決めて射に挑む与一の箭は海を越えて、見事に扇的を射抜くのです。スリリングな場面展開が、声の高さの変化や旋律形の変化によって表現されます。

解説：藤田 隆則（日本伝統音楽研究センター教授）

出演者紹介

金剛 龍謹

こんごう たつりのり

1988年生。金剛流二十六世宗家金剛永謹の長男。幼少より、父・金剛永謹、祖父・二世金剛巖に師事。自身の演能会「龍門之会」主催。同志社大学文学部卒業。公益財団法人金剛能楽堂財団理事。京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞受賞。重要無形文化財保持者（総合認定）。京都市立芸術大学非常勤講師。

菊央 雄司

きくおう ゆうじ

人間国宝菊原初子の後継者、地歌演奏家菊原光治の演奏に感銘を受け12歳で師に入門、後に「菊央」の称号を授かる。

1999年より上方胡弓を菊津木昭に師事。2002年から文化庁の新進芸術家国内研修員として今井勉から平家の指導を受ける。地歌三味線などの伝統を継承しながらも現代邦楽や新しいスタイルでの演奏にも目を向け、国内外での精力的な公演のほか、三味線指導も行っている。2017年、第21回日本伝統文化振興財団賞受賞。令和5年度芸術選奨新人賞受賞。

会場

art space
kaneshiro

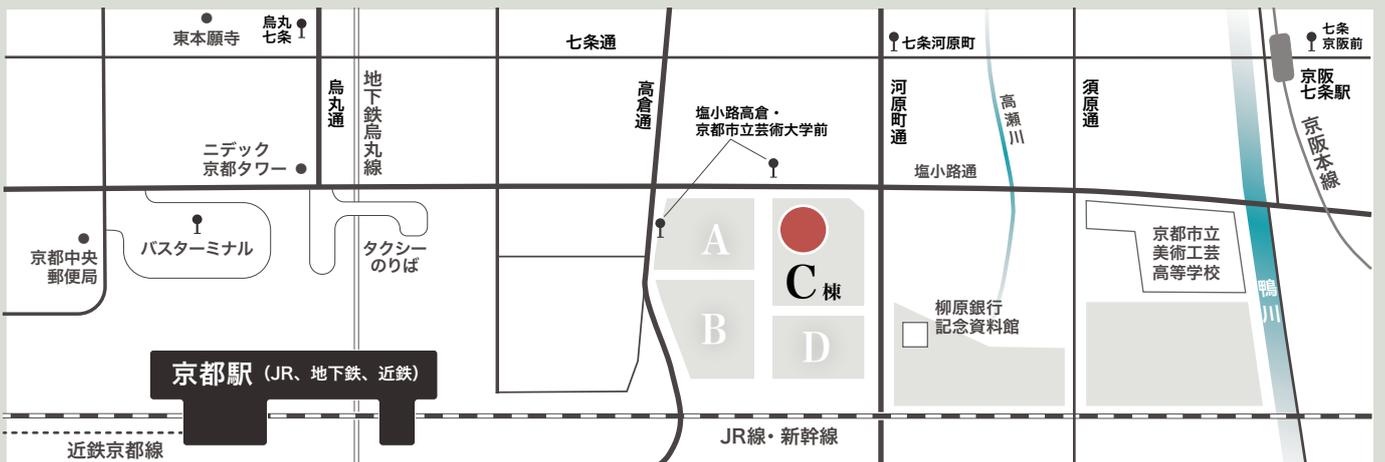
アールスペース k.kaneshiro

京都市下京区下之町57-1
京都市立芸術大学 C棟6階

<https://artspace-kkaneshiro.jp/>

- 地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車 徒歩6分
- 京阪電車「七条」駅下車 徒歩10分
- 市バス 4・7・16・81・205・南5号系統「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ

構内に駐車場はございません。各種公共交通機関をご利用のうえご来場ください。



ご来場方法や座席等について特別な配慮を必要とされる方は、開催日の5日前までに共創テラス・連携推進課までご相談ください。ご希望に沿うよう可能な限り対応いたします。